

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績
1. 病院事業	<p>1. 事業概要</p> <p>(1) 総括事項</p> <p>令和3年度の病院事業は、町内唯一の医療機関として、入院、外来及び救急指定病院の役割を担い救急患者の対応に努めたほか、保健・予防活動として町保健福祉課との連携により、特定健診などの各種検診業務等を行った。</p> <p>患者の利用状況については、1日当り入院は36.9人で前年度比0.5人(1.4%)の増、外来は66.3人で前年度比2.5人(3.6%)の減となった。</p> <p>また、訪問看護事業は延べ182人で前年度比46人(20.2%)の減となった。</p> <p>収益勘定の医業収益では、入院が239,519千円で前年度比15,804千円(7.1%)の増、外来は125,598千円で前年度比12,528千円(9.1%)の減となった。訪問看護事業は922千円で前年度比129千円(12.3%)の減となった。これに、その他の医業収益74,996千円を加えると令和3年度の医業収益は441,035千円、医業外収益は388,622千円で、病院事業収益合計では829,657千円となり前年度比で1,186千円(0.1%)の減となった。</p> <p>医業費用では、給与費が557,410千円で前年度比16,487千円の増、材料費は63,924千円で前年度比5,802千円の増、経費は138,172千円で前年度比8,264千円の増となった。</p> <p>減価償却費は78,192千円で1,782千円の増、医業費用合計では842,051千円となり前年度比32,957千円の増となった。</p> <p>医業外費用は、32,331千円で前年度比1,233千円の減となり、病院事業費用の合計は874,382千円で前年度比31,724千円(3.8%)の増となった。そのうち一般会計から収益的収支に対する負担金として350,000千円(53,595千円減)を繰り入れたが、収支差引では44,725千円の赤字決算となり、未処理欠損金は前年度末残高934,771千円と合わせて979,496千円となった。</p> <p>資本勘定の収入では一般会計からの出資金63,307千円、国保会計繰入金5,578千円、企業債30,900千円を借入れし、収入全体で99,785千円となった。支出では有形固定資産購入に20,181千円、病院改修費に18,710千円、企業債償還金支払いに75,915千円を支出し、支出全体では114,806千円(前年度比300千円減)となり、不足する額15,021千円は過年度・当年度損益勘定留保資金を充当した。</p> <p>医師体制については、4月より隅医師を招聘し、7月には竹下診療部長の招聘により、医師5人体制となったが、8月末に諫山診療部長が退職、9月末には任期満了に伴う隅医師の退職、翌年2月末には宮西院長の退職となり、常勤医師2名となったため、3月中の午後診療は、外部より診療依頼している診療科を除いては、休診とせざるを得ない状況となった。</p> <p>また、休日等は札幌医科大学等の支援を得ながら医師の安定確保を図った。短期医師については、整形外科診療は市山医師に、呼吸器内科及び泌尿器科診療は帯広協会病院に、眼科診療は北海道大学に、内科は北広島病院に依頼した。</p> <p>年度末の職員数は69人であり、その内訳は正職員41人、会計年度任用職員28人である。</p> <p>こうした体制のもとで病院経営は、一般会計からの繰り入れを除く実質赤字額は394,725千円となり、前年度比20,685千円の減となった。</p> <p>今後とも地域における医療を守るために、医師の安定確保を図りながら、信頼される医療の提供と患者サービスの向上、令和4年度に策定予定の公立病院経営強化プランや経営改善検討委員会の議論を反映しながら経営の効率化等に努め、更なる経費の節減と増収、増益に意を用い、経営の健全化に努めていかなければならない。</p>

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績								
	<p>①診療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師体制について 内科 4人 ・ 出張医関連医局等 眼科外来～北海道大学大学院医学研究院眼科学教室 泌尿器科外来～帯広協会病院泌尿器科 整形外科外来～帯広整形外科医師 呼吸器外来～帯広協会病院呼吸器内科 札幌医科大学呼吸器・アレルギー内科学講座、神経内科学講座、 感染制御臨床検査医学講座 旭川医科大学 麻酔・蘇生学講座 社会医療法人即仁会 北広島病院 <p>②保健予防活動</p> <p>町民の保健予防活動については、保健福祉課との連携により行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日帰り人間ドック・特定健診・がん健診 各学校・各職場健康診断 各種予防接種 健康相談会 広報活動 町広報「病院だより」 <p>③経営安定対策</p> <p>病院事業の経営改善計画に基づき、院内会議を継続的に開催し、収益の向上と経費の節減に向けた対策の検討を行った。</p> <p>また、医療事務の一部委託、清掃業務及び警備業務、公用車運転業務、調理業務などを当年度も全面委託し経費の節減に努めた。</p> <p>④建設改良事業</p> <p>診療充実にに向けた建設改良、有形固定資産を次のとおり整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物改良整備 2件 18,710,000円 ・ 医療機器等整備 12件 20,181,000円 <p>(詳細は、2. 資産の取得及び処分 (1) 資産の取得・器械備品等の取得欄に記載のとおり)</p> <p>⑤収支決算</p> <p>入院収益については、患者数増などにより、15,804千円増収となったが、外来収益については、患者数減少などにより12,528千円減収、その他医業収益については、新型コロナワクチン接種事業により、国補助金が増収になった一方、医業外収益は一般会計からの繰入額減少などにより、41,617千円減収となった。</p> <p>また、医業費用では平日の外部当直医依頼増のため、給与費が増となり、医業費用合計では対前年度比で32,957千円の増となり、44,725千円の赤字決算となった。</p> <table data-bbox="475 1738 1082 1877"> <tr> <td>当年度総収益</td> <td>829,656,745円</td> </tr> <tr> <td>当年度総費用</td> <td>874,382,090円</td> </tr> <tr> <td>当年度純損失</td> <td>44,725,345円</td> </tr> <tr> <td>当年度未処理欠損金</td> <td>979,496,328円</td> </tr> </table>	当年度総収益	829,656,745円	当年度総費用	874,382,090円	当年度純損失	44,725,345円	当年度未処理欠損金	979,496,328円
当年度総収益	829,656,745円								
当年度総費用	874,382,090円								
当年度純損失	44,725,345円								
当年度未処理欠損金	979,496,328円								

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績							
	⑥一般会計と国保会計からの負担金・補助金、及び企業債借入金 収益的収支 一般会計 350,000,000円 (前年度403,595,000円) 計 350,000,000円 (前年度403,595,000円) 資本的収支 一般会計 63,307,000円 (前年度 69,202,000円) 国保会計 5,578,000円 (前年度 8,712,000円) 国道補助金等 0円 (前年度 5,073,000円) 企業債 30,900,000円 (前年度 15,800,000円) 計 99,785,000円 (前年度 98,787,000円) 収益的及び資本的収支の合計 一般会計 413,307,000円 (前年度472,797,000円) 国保会計 5,578,000円 (前年度 8,712,000円) 国道補助金等 0円 (前年度 5,073,000円) 企業債 30,900,000円 (前年度 15,800,000円) 計 449,785,000円 (前年度502,382,000円)							
	(2) 議会の議決事項							
	議会	議案	件名				議決年月日	
	定例第3回	議案第16号	令和3年度病院事業会計補正予算 (第1号)				令和3年9月7日	
	定例第3回	認定第8号	令和2年度病院事業会計歳入歳出決算認定				令和3年9月9日	
	定例第3回	追加議案 第17号	備品購入契約の締結について				令和3年9月9日	
	定例第1回	議案第20号	令和3年度病院事業会計補正予算 (第2号)				令和4年3月4日	
	(3) 職員に関する事項							(単位：人)
	職種別	2年度末 R3.3.31 現在	3年度末 R4.3.31 現在		令和3年度中の異動			
			総数	内会計 年度任 用職員	転入		転出	
					採用	異動	退職	異動
	医 師	3	2	0	隅 R3.4.1 竹下 R3.7.1		諫山 R3.8.31 隅 R3.9.30 宮西 R4.2.28 守屋 R4.3.31	
	薬 剤 師	1	1	0				
	臨床検査技師	2	2	1				
	放射線技師	2	2	1				
	理学療法士	1	1	0				
	臨床工学技士	2	2	0				
	看 護 師	28	31	7	稲本・菱沼 R3.4.1 佐々木(直)		森戸 R4.3.31 佐々木(直)	

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績							
				R3. 4. 2 佐藤(真) R3. 10. 1 森本 R3. 11. 29		R4. 3. 31 森本 R4. 3. 31		
准 看 護 師	7	10	7	前道 R3. 4. 9 本村 R3. 4. 12 藤澤・石田 R3. 5. 10		前道 R4. 3. 31		
看 護 補 助 員	10	10	10					
栄 養 士	2	2	0					
薬 剤 助 手	1	1	1					
理 療 助 手	0	0	0					
事 務 員	5	5	1		増田 R3. 4. 1			
計	64	69	28					
※令和3年度転出者の内、令和4年3月31日付け退職者は、令和3年度末総数に含める。								
※清掃員4人、警備員1人、医療事務員5人、雑役業務1人、給食調理員3人、計14人は民間委託。								
2. 資産の取得及び処分								
(1) 資産の取得・器械備品等の取得 (単位：円)								
品 名					供用年月日	取得金額		
国民健康保険病院設備改修工事（冷房）					R3. 7. 30	10,560,000		
総合福祉施設設備改修工事（電話）					R3. 12. 27	8,150,000		
全自動遺伝子解析装置					R3. 4. 23	350,000		
個人用多用途透析装置					R3. 5. 20	4,500,000		
解析付心電計					R3. 7. 13	1,948,000		
回診用X線装置					R3. 7. 26	2,900,000		
尿化学分析装置					R3. 8. 17	1,695,000		
ポータブルスリットランプ					R3. 9. 15	400,000		
バイオメディカルフリーザー					R3. 9. 29	171,000		
はかり付きストレッチャー					R3. 10. 8	520,000		
介護浴槽					R3. 10. 27	7,000,000		
ノートパソコン					R3. 11. 9	238,000		
シュレッダー					R4. 1. 31	327,000		
電子天秤					R4. 3. 9	132,000		
合 計						38,891,000		

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績						
	(2) 資産の処分 (単位:円)						
	品 名	供用年月日	取得金額				
	ファイバー洗浄機	S59. 10. 31	1, 400, 000				
	超音波診断装置	S61. 11. 19	7, 500, 000				
	電子レンジ	H 4. 12. 18	30, 694				
	物品在庫管理システム一式	H13. 2. 7	3, 564, 750				
	増設磁気ディスク	H12. 12. 8	4, 462, 500				
	シュレッダー	H13. 1. 13	299, 250				
	手持ちスリットランプ	H13. 2. 23	517, 650				
	薬品保冷庫	H13. 2. 26	127, 900				
	解析付心電計	H13. 2. 26	2, 022, 794				
	浴用担架	H13. 2. 26	798, 000				
	浴用担架	H13. 2. 26	861, 000				
	分離型車椅子入浴装置	H13. 2. 26	6, 825, 000				
	移動型X線装置	H18. 2. 9	2, 070, 000				
	個人用透析装置	H21. 5. 22	4, 300, 000				
	個人用多用途透析装置	H22. 5. 28	5, 400, 000				
	医用画像情報システム	H22. 5. 28	19, 600, 000				
	合 計		59, 779, 538				
	3. 業務						
(1) 患者延べ人数及び1日平均患者数 () 前年度 (単位:人)							
	入院			外来			
	延べ人数	診療日数	1日平均	延べ人数	診療日数	1日平均	
内科	(13, 299) 13, 460	(365) 365	(36. 4) 36. 9	(15, 126) 14, 480	(243) 242	(62. 2) 59. 8	
外科	(0) 0		(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	
眼科	(0) 0		(0) 0	(719) 679	(49) 50	(14. 7) 13. 6	
整形外科	(0) 0		(0) 0	(543) 498	(15) 12	(36. 2) 41. 5	
泌尿器科	(0) 0		(0) 0	(334) 396	(12) 12	(27. 8) 33. 0	
小児科	(0) 0		(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	
合計	(13, 299) 13, 460		(365) 365	(36. 4) 36. 9	(16, 722) 16, 053	(243) 242	(68. 8) 66. 3
※ 外来患者数の内、時間外診療350人(内、救急車搬入32件)							
※ 外来診療、合計診療日数は開院日数							

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績								
	(2) 集団検診等の状況							() 前年度	(単位：日/人)
	特 定 健 診 等	学校保育所 関係検診	教 職 員 検 診	人 間 ドック	結 核 検 診	職 場 検 診	その他	計	
日数	(23) 33	(30) 29	(12) 13	(26) 26	(0) 0	(84) 80	- -	(延 175 日) 延 181 日	
実施 人数	(52) 73	(1, 118) 1, 019	(63) 71	(52) 60	(0) 0	(724) 736	(141) 138	(2, 150) 2, 097	
	(3) 訪問診療の実績							(単位：件/人)	
年度別	対象実人員			訪問診療延件数			備 考		
	男性	女性	計	男性	女性	計			
3年度	1	6	7	1	42	43			
2年度	0	6	6	0	31	31			
元年度	0	3	3	0	26	26			
30年度	2	2	4	8	24	32			
29年度	1	3	4	6	26	32			
28年度	3	2	5	21	22	43			
	(4) 訪問看護の実績							(単位：件/人)	
年度別	対象実人員			訪問看護延件数			備 考		
	男性	女性	計	男性	女性	計			
3年度	0	5	5	0	182	182			
2年度	4	5	9	30	198	228			
元年度	7	3	10	135	92	227			
	(5) 事業収益に関する事項							(単位：千円)	
	区分	令和3年度		令和2年度		比較増減			
	医業収益	441, 035		400, 604		40, 431			
	入院収益	239, 519		223, 715		15, 804			
	外来収益	125, 598		138, 126		△ 12, 528			
	訪問看護収益	922		1, 051		△ 129			
	その他医業収益	74, 996		37, 712		37, 284			
	医業外収益	388, 622		430, 239		△ 41, 617			
	受取利息配当金	1		5		△ 4			
	他会計負担金	350, 000		403, 595		△ 53, 595			
	患者外給食収益	225		241		△ 16			
	長期前受金戻入	23, 823		21, 873		1, 950			
	その他医業外収益	2, 320		2, 348		△ 28			
	国・道補助金交付金	12, 253		2, 177		10, 076			
	収益合計	829, 657		830, 843		△ 1, 186			

項 目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績		
	(6) 事業費用に関する事項		(単位：千円)
	区分	令和3年度	令和2年度
			比較増減
	医業費用	842,051	809,094
	給与費	557,410	540,923
	材料費	63,924	58,122
	経 費	138,172	129,908
	減価償却費	78,192	76,410
	資産減耗費	2,989	2,998
	研究研修費	1,364	733
	医業外費用	32,331	33,564
	支払利息	10,007	10,998
	患者外給食材料費	219	196
	雑損失	22,105	22,370
	特別損失	0	0
	費用合計	874,382	842,658
	収支差引	△44,725	△11,815
	<p>4. 会計</p> <p> 企業債及び一時借入金の概要</p> <p> (1) 企業債</p> <p> 前年度末未償還残高 805,547,564円</p> <p> 本年度企業債発行額 30,900,000円</p> <p> 本年度償還金額 75,915,079円</p> <p> 本年度末未償還残高 760,532,485円</p> <p> (2) 一時借入金</p> <p> 本年度は、一般会計から一時借入を行う事無く、事業運営をすることが出来た。</p>		